

PS1008
FNFE-NJ

LTE用陸上移動局

使用者に本書なしで無線機を貸与される場合は、必ず「安全上のご注意」の内容を告知してください。特にバッテリーパックは取り扱いを間違えると火災などの大きな事故につながる恐れがあります。

【お願い】
本書は安全と取扱上の注意、最低限の操作についてご説明するもので、取扱説明書ではありません。詳細な操作については必ず弊社のHPに掲載の取扱説明書をお読みください。
<https://alinco-denshi.com/item/dj-cp100.html#000051>
又は「アルインコ DJ-CP100説明書」で検索

東京支店	〒1103-0027	東京都中央区日本橋2丁目3番4号	日本橋プラザビル14階	TEL.03-3278-5888
名古屋支店	〒460-0002	名古屋市中区丸の内1丁目10番19号	サンエビル4階	TEL.052-212-0541
大阪支店	〒541-0043	大阪市中央区高橋4丁目4番9号	淀屋橋ダイビル13階	TEL.06-7636-2361
福岡営業所	〒781-0013	福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号	エコービル2階	TEL.092-473-8034

ホームページ <https://www.alinco.co.jp/> >事業案内>電子事業部 をご覧ください。

Copyright Alinco, Inc. Printed in Japan

危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
注意	この表示は「人が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

⚠ 危險

爆発、火災、感電、故障の原因になります。本機は防爆仕様ではありません。

- ◎ 雷鳴が聞こえたときには、落雷のおそれがありますので、本体、バッテリーパック、充電器、ACアダプターには触れないでください。
感電の原因になります。
- ◎ 分解、改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。

● くらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。

● 落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。

● 清掃するときは、洗剤や有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）を絶対に使用しないでください。柔らかい綺麗な布で乾拭きをしてください。

ケースが損傷したり文字が変質したり、塗装がはがれたりする恐れがあります。

また、機器内部に洗剤などに浸透し故障の原因になることがあります。

警告

- 本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。
- 医療・介護施設、航空機内など携帯電話や電波の使用に制限のある場所ではその指示に従ってください。
- 電波障害による機器の誤動作が重大な事故や妨害の原因となります。
- 付属品および、弊社指定のオプション品以外を使用しないでください。
- 故障の原因になることがあります。弊社指定以外のオプション品をご使用になって起きた故障は保証期間の有無を問わず、有償修理となります。
- 本機を落としたり、壁に当てたりしないでください。
- 無理な力が加わり破損し発火、発熱、けがの原因となります。
- 本機の定格温度を必ず守ってご使用ください。
- 定格温度は10℃→60℃です。この範囲外で使用了場合、火災の原因となることがあります。
- 本機の充電端子や充電器の端子に半田付けをしたり、端子間を金属類で接続しないでください。
- 火災、発熱、感電、けが、故障の原因となります。

- ① アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。
変形や破損の原因になることがあります。
- ② スポンのポケットに入れて使用しないでください。
座ったときに無理な力が加わり、故障の原因になることがあります。
- ③ 大きな音量で長時間使用しないでください。
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因となります。
- ④ アンテナを接続しないで送信したり、送信しながらアンテナを接続したりしないでください。
発熱、感電、けが、故障の原因となります。

警告

● 次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。

- 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また水にぬれたときは使用しないでください。
- ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
- 充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。

- 0℃～+45℃以外の環境で使用しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所で使用しないでください。
- 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。
- 指定以外の電圧で使用しないでください。

警告

- 感電の原因になります。
- ◎ ACアダプターや接続ケーブルにキズがある場合（芯線の露出、断線など）や、ACコンセントの差し込みが正しいときは使用しないでください。
火災、感電、故障、破損の原因となります。
- ◎ コード類を加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、コード類の上には重いものを載せないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ ACアダプターを抜き差しするときは、電源コードを引っ張らないでください。
火災、感電、やけどの原因となります。
- ◎ 指定以外の機器にACアダプターを接続しないでください。
火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。

- 0℃以下～+45℃以外の環境で使用しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所で使用しないでください。
- 接続機器を使用しない場合、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 指定以外の電圧で使用しないでください。
- ACアダプターをタコ足配線状態に接続して使用しないでください。

■ **バッテリーパック** ※管理者は必ず使用者全員にこの内容を告知してください。

次の注意事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液漏れ、感電、火傷の原因になることがあります。

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
- 改造、分解をしないでください。
- 落下等の強い衝撃を与えないでください。
- 端子接続部をショートさせないでください。

- ① 指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、直ちに充電を中止してください。
- 充電をつづけると、発煙や発火を起こす危険性があります。
- ② コンクリートなどの固い床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- 外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があります、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ③ 購入時に比べ運用時間が極端に短くなったとき、バッテリーパックは寿命です。
- 使用をつづけると、発煙や発火の原因となります。
- ④ 使用中や充電中に、いつもより 発熱する ふくれた など異常と感じたときは、使用を中止してください。
- 使用を続けると、バッテリーパックの破裂、発熱、故障の原因となります。
- ⑤ 満充電になった直後に再充電をしないでください。
- 繰り返し行くと過充電となり、バッテリーパックの破裂、発熱、劣化の原因となります。

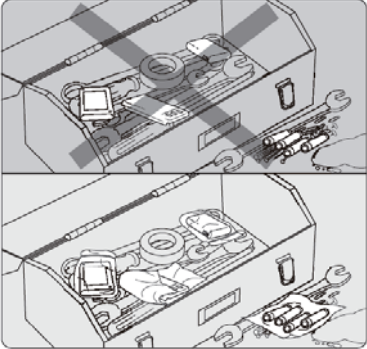
◎ バッテリーパックは出荷時、完全には充電されていません。
● お買い上げ後に充電してからご使用ください。

● 本機を満充電にした状態、または元主に使い切った状態で長期間放置しないでください。
長期間本機を保管する場合は、バッテリーを完全に使い切った状態から1時間程度充電した
後、保管してください。

● 本機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

- **バッテリーパックは消耗品です。充電回数は、300回～500回です。**
充電状況を定期的に確認してください。いつもより熱いふくれたなどバッテリーパックに異常があると思われるときは、使用を中止し、新品のバッテリーパックに交換してください。
- **使用せずに保管している状態でも、劣化が進行します。**
劣化がよじまると、満充電状態からでも運用時間が短くなります。
- **劣化したバッテリーパックは発火や火災の原因となることがありますので、使用しないでください。**
- **充電が完了しても運用時間が極端に短くなったときは寿命です。**
無線機の性能を十分に活用するために、3年を目安に長くても5年以内の交換をおすすめします。古いバッテリーパックは発火、発熱のリスクが高くなります。

◎ バッテリーパックを持ち運ぶ際には、端子を絶対にショートさせないように注意してください。大電流が流れて発熱し、やけどや火事になる危険があります。



- ・持ち運ぶときは乾いた袋や布で個別に包装

- 金属の上に直接置かない

③ 電池類を保存するときは必ず無線機から外してください。
無線機は電源オフでも待機電流を消費し、過放電の原因となります。保存には-10℃～+45℃の範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。範囲外の温度や極端に湿度の高い場所では、漏液や金属部のサビの原因となります。

④ 乾燥した冷所に保存してください。放電状態で保存することは絶対に避けてください。

補修部品の保有期間は、生産終了後5年です。

- 改造、分解されたり銘板や付属品が剥がれたりした製品は修理をお断りすることがあります。
- 修理見積りや保険用の証明書発行は、一部有償です。
- 本機には明確に定められた製品寿命はありません。
- 樹脂成型時に細いラインが入ることがありますが、異常ではありません。
- 印字について美観上の問題が無い範囲でわずかなムラがあります。
- 使用条件によって端子部が変色することがありますが、異常ではありません。
- 静電気が溜まりやすい場所や色表で別売のイヤホンを着替えるとき、耳に静電気ショックを感じる場合があります。ドノブなどに触れて感じることもあるショックと同じで、漏電のような異常ではありません。

Li-ion

- 本機は充電式電池使用機器です。リサイクル・交換などは販売店にご相談いただく、本書の「アフターサービス」をご参照のうえ弊社サービスセンターにご相談ください。
- 廃棄の際はお住まいの地域のリチウムポリマー、リチウムイオン電池機器の廃棄処理ルールに従ってください。

工業機械、モーター、コンプレッサー、LED照明機器、電磁調理器、給湯器
自動車の電子機器、発電装置、OA機器、空調装置など、電気を使用する機器から
出る電磁波の影響を受けて通信しにくくなることがあります。場所を変えるなど通信で
きくときは異常ではありません。無線機器側でノイズを消すことはできません。

本機は電波法に基づいて、技術基準適合証明（工事設計認証）を受けた製品です。本機には右の数字や記号が印字されています。分解しないでください。改造して使用してはなりません。

● **本機に貼付されたラベル類は重要です。次のことにご注意ください。**

- 機種名、数字や記号が書かれたラベル類は絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたらないでください。技術適合の基準から外れ、違法機器とみなされ、行政処分の対象となることがあります。
- ラベル類が隠れるように他のシールやステッカーが貼り付けられたら、修理の際に弊社サービスセンターで破棄させていただきます。ラベル類の印字が薄れてきた場合はお買い上げいただいた販売店が弊社サービスセンターにご相談ください。
- ラベル類が意図的に手を加えられていると判断した場合、修理をお断りすることがございます。不法無線局開設の帮助に該当するためですのでご了承ください。

● **使用できるのは国内のau網またはdocomo網のカバーエリア内に限られます。**

● **心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本機を使用しないでください。**電磁妨害により機器が誤作動すると、人命にかかわります。

本機は設計段階でIP64/65/66/67規格の耐塵防水試験に合格しています。アンテナ、バッテリーバック、イヤホン/マイク端子と[USB]コネクタの保護カバーなどを正しく装着するなど指定の条件を満たしていれば、水回りやホコリっぽい環境の中でもお使いになっても故障しにくい構造になっています。ただし防塵、防水試験には条件があり、完全な防水を保証するものではありません。

保護に使われているカバーやシールドの素材は経年劣化のため変質し、保護性能が低下します。保護が重要な場合は有償でメンテナンスを承ります。販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療機器の近くで本機を使用する場合は、電波により医療機器の作動に影響を与える恐れがあります。下記のことにご注意してご使用ください。

本機の通信部は入れない携帯電話に近いものです。携帯電話の使用が禁止されている場所では絶対に電源をきらないでください。

② 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療機器を装着されている場合は、本機を医療機器から15cm以上離して携行および使用してください。

③ 医療機関内における本機の使用・持ち込みについては、各医療機関の指示に従ってください。電波により医療機器の作動に悪影響を及ぼす可能性があります。

④ 身動きが自由に取れないなど、周囲のつりと15cm以上の距離が確保できない恐れがある場合は、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療機器を装着している方がある可能性がありますので、本機を使用しないでください。

⑤ 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療機器を使用する場合は、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により機器の作動に影響を与える恐れがあります。

本機の比吸収率(SAR)について

本機の比吸収率(SAR)について
本機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※に適合しています。人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR：Specific Absorption Rate)について、これが2W/kgの許容値を超えないこととしています。この値は、十分に安全な値として設定されており、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線保護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じです。本機は0.887W/kgで、国が定めた方法に従い、本機の最大送信電力で測定された最大の値です。個体によって多少の差異が生じますが、いずれも許容値を満たしています。さらに本機は基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるように設計されているため、実際の使用状態では、値はより小さくなります。SARについてさらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省ホームページ：
https://www.tele.soumu.go.jp/j/e/e/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ：
https://www.arib-emp.org/index.html
※技術基準については電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

ファームウェアの自動更新について

本機は、自動的にファームウェアが更新されることがありますのであらかじめご了承ください。※更新中は、本機をご利用いただけませんので注意してください。

使用上のご注意

■ ご使用環境

高温、多湿、直射日光が当たり続けるところは避けてご使用ください。
サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また電波状態の悪い場所では通信できなかったり、通信が途切れることがあったりしますので、あらかじめご了承ください。

■ 分解しないで

本機を分解、改造したり、本体背面に貼り付けてある証明ラベルを剥がして使用することは法律で固く禁じられています。

■ 使用禁止場所

本機は携帯電話の一種です。携帯電話の使用が禁止されている場所ではお使いになれません。特に医療機関や介護施設では使用禁止場所の指示に従ってください。

本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外に持ち出すと規格や電波行政の違いからトラブルになったり現地で処罰されたりする可能性があります。
This product is permitted for use only in Japan.

Misuse shall be subject to fine and or penalty.

■ 本機は携帯電話の回線を使用した無線機ですが、110番や119番に電話をかけることはできません。弊社のIP無線機やアプリ無線としか通話することができませんのでご注意ください。

■ 待機電流

待機電流のためバッテリーが過放電して劣化する恐れがあります。本機を保管する場合はバッテリーパックを外してください。

付属品の取り付け方

付属品をご確認ください。

□アンテナ : EA-297 □ベルトクリップ : EBC-46(装着済み)
□バッテリーパック : EBP-198(Li-ion 7.2V 2200mAh)
□シングル充電スタンド : EDC-326R □ACアダプター : EDC-215
□ご使用になる前に(本紙) □保証書

※ 同時通話をするときは、イヤホンマイクかヘッドセットが別途必要です。用途に合うものを前もってお求めください。

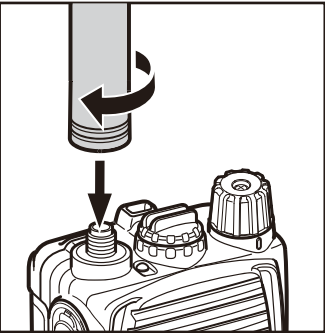
注意	・保証書にご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。 ・本機の保証は本体と、上記に記載の付属品のみに適用されます。
-----------	--

アンテナの取り付け方

アンテナの根元を持って時計方向(右)に回転が止まるまで回します。

外すときは反時計方向(左)に回します。

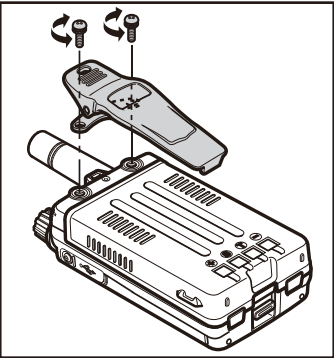
注意	他のアンテナを接続すると通信できなくなることはあっても、圏外の解消など電波環境の改善になることはありません。 本機は付属のアンテナを含めて技術基準適合証明を受けているため、他のアンテナを接続することは禁止されています。
-----------	--



ベルトクリップについて

ベルトクリップは取付けた状態で梱包されています。ベルトクリップを外すときはドライバーでネジを反時計方向に回してください。(＋ドライバーNo.2が必要です。)

注意	定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スベア部品として販売していますので販売店にご相談ください。 標準付属品以外のネジを使うと無線機本体が破損します。絶対に規格以外のネジは使わないでください。(ネジ規格：M3×6mm)
-----------	---



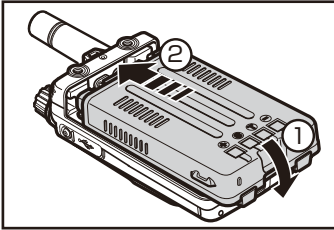
メモ

ベルトクリップを使って装着する際は、ベルトクリップで体の横、または背中に固定してください。イヤホンマイクは引っかからないようになるべく背中を通して、余分な長さを束ねてください。かがんだときにプラグやアンテナにストレスが掛からないようにご注意ください。

バッテリーパックの取付け / 取外し

●バッテリーパックの取付け方

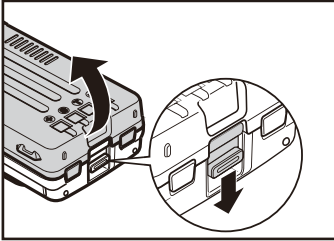
バッテリーパックを本体のツメに合わせ、バッテリーパックを矢印の方向に押し込んでからしっかりと固定します。ロックレバーが固定されているか確認します。



●バッテリーパックの取外し方

本体のロックレバーを押してバッテリーパックをスライドさせて取り外します。

注意	バッテリーパックをスライドさせる際は、指やツメなどを傷めないよう、注意してください。 バッテリーパックは取り扱いを間違えると大変危険です。本紙の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
-----------	--



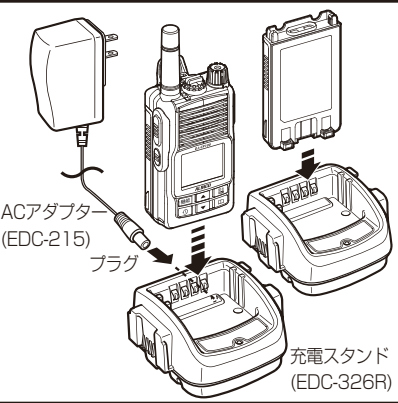
注意

■保管と補充電について
リチウムイオン電池は適度に充電された状態で保管することが最適で、過充電や過放電状態は劣化を促進します。
長期間保存するときは表示の電池マークが1メモリ減っているのを目安にして、バッテリーパックを外して乾燥した冷暗所で保管してください。電池マークが空になったら1時間程度補充充電してから保管してください。
時々本体に装着して電源を入れ、異常がないか点検してください。

充電方法

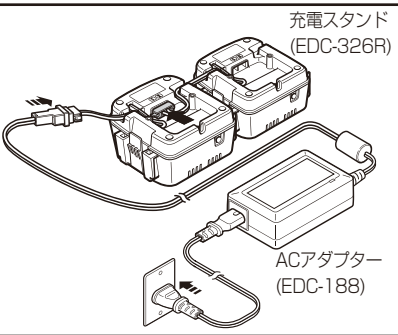
お買い上げいただいたときや、長い間使用しなかったときはフル充電してからお使いください。

- ① 本体の電源を切り、バッテリーパックを装着し、ACアダプターのプラグを充電スタンドに接続します。
- ② ACアダプターをAC100Vコンセントへ接続します。充電が開始すると充電スタンドのランプが赤色に点灯します。
- ③ 充電が完了するとランプが緑色に点灯します。
- ④ バッテリーパック単品で充電することもできます。



オプションのACアダプター EDC-188をお求めになれば、EDC-326Rと図のように接続し、最大6台まで連結して充電することができます。

注意	本機専用のACアダプターと充電スタンドでしか充電できません。専用品以外の使用は危険ですから、絶対におやめください。
-----------	---

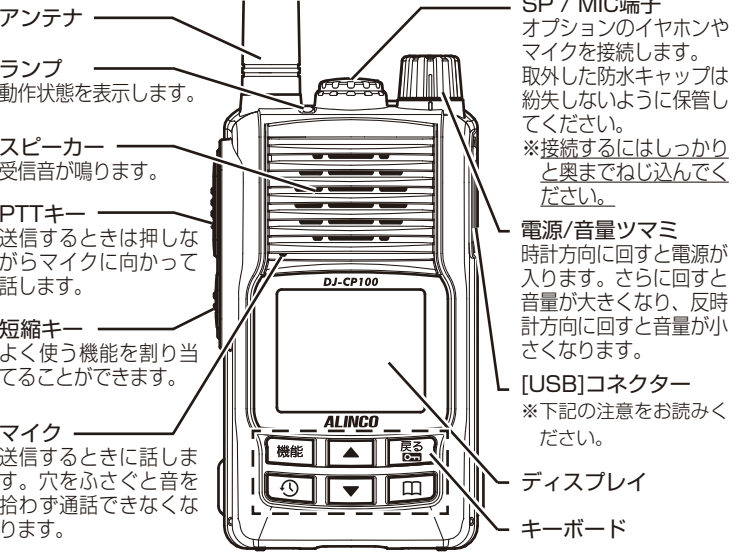


メモ

充電時間は空のバッテリーパックをフル充電する場合で、約3時間です。充電は周囲温度が0℃～＋45℃の屋内でおこなってください。充電するときは本機の電源を切ってください。電源を入れたまま充電すると満充電にならないり、正しく充電できずバッテリーパックの劣化を早めたりすることになります。充電が済んだら充電スタンドから外してください。
本機および充電器の端子はときどき乾いた綿棒などで清掃してください。汚れていると接触不良により正常に充電できないことがあります。また充電スタンドのランプが赤色点滅した場合は正常に充電が完了していません。清掃と点検をしても充電できない場合は販売店か弊社サービスセンターにご相談ください。

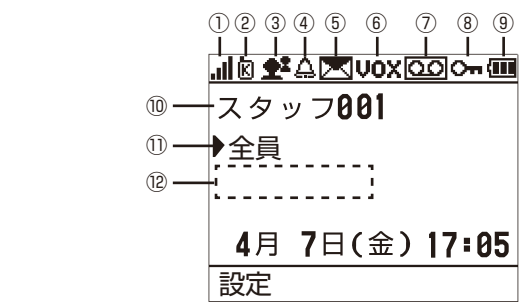
各部の名前とはたらき

前面部



注意	USBコネクタは販売代理店等が保守用に使用します。使用者が何かを接続するためのものではありません。充電はできません。防水性が失われますのでカバーは開けないでください。また、ゆるみが無いが時々確かめてください。
-----------	--

ディスプレイ (待ち受け中)



	説明
①	電波強度を4段階で表示します。 LTE通信のとき 3G通信のとき 圏外のとき
②	SIMと回線の接続状態を表示します。 シングル SIM(au回線) シングル SIM(docomo回線) デュアルSIM(au回線選択) デュアル SIM(docomo回線選択) (点滅)：未接続
③	現在の通話モードを表示します。 全員・グループ 個別 会議室
④	着信があったことを知らせるベル機能設定時に点灯します。
⑤	未読のメッセージがあるときに点灯します。
⑥	VOX機能設定時に点灯します。
⑦	未聴の録音データがあるときに点灯します。
⑧	キーロック動作時に点灯します。
⑨	バッテリー残量を4段階で表示します。
⑩	スタッフ001 自分の表示名です。
⑪	全員 通話モードを表示します。(全員・グループ・個別・会議室)
⑫	通話モードを全員以外に設定しているとき、通話相手のグループ名・会議室名・名称が表示されます。

キーボード

名称	説明
機能キー	待ち受け画面で押すとセットモードを開きます。 そのほか、項目の選択時に使用します。
戻るキー	セットモードを開いているときに押すと前の画面に戻ります。 待受画面で押すと通話モードを全員→グループ→個別→会議室と切り替えます。待受画面で長押しするとキーロック設定/解除ができます。
▼/▲キー	各設定項目などを上下にスクロールするために使用します。 待受画面で押すと通話先を切り替えます。
□ (アドレス帳)キー	押すとアドレス帳を開きます。
⌚ (履歴)キー	通話とメッセージの履歴が表示されます。

基本操作

詳しくはWeb配信の取扱説明書をお読みください。

キーを押す

「キーを押す」はしっかり押した後、すぐに離すことを指します。
「キーを長押し」は約2秒間押し続けることを指します。

電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向にカチッと回して電源を入れます。
起動中はディスプレイに「ALINCO」と表示され、1分程度経過すると起動が完了し、待ち受け画面が表示されます。

注意

本機は起動中に自動でファームウェアの更新をすることがあります。ディスプレイに「ダウンロード中」と表示されたら、自動的に再起動するまで、電源を切ったりバッテリーパックを外したりしないでください。故障の原因となります。ファームウェアの更新には5分程度かかることがあります。このため、ご使用の際は早めに電源を入れて、時間に余裕を持ってお使いください。

音量を調整する

電源を入れてからツマミを回すと音量が調整できます。時計方向で大きくなり、反対に回すと小さくなります。調整できる範囲は「0～32」です。

注意

イヤホンを使用するときはあらかじめ音量を下げてください。音量を大きく過ぎると聴力障害の原因になるおそれがあります。ゆっくりボリュームを上げてください。

送信する

初めに、待ち受け画面に通話モード「全員」が表示されていることをご確認ください。表示されていないときは、「戻る」キーを何度か押して「全員」を選択してください。押す度に「全員」⇒「グループ」⇒「個別」⇒「会議室」と変わります。ここでは基本となる「全員」についてのみご説明します。

待ち受け画面に「全員」表示中に「PTT」キーを押し続けると、ランプが黄色に点灯し、送信します。マイクに向かってお話しください。
マイクと口元は5cmほど離してください。「PTT」キーを離すとランプが緑色点灯に変わります。相手が応答すると、その声が聞こえます。

応答する

信号を受信すると、ランプが緑色に点灯し音声が入ります。
このときディスプレイに通話モードと発呼者名が表示されます。
※発呼者とは通話を始めた人のことをいいます。
相手が話し終えた後に「PTT」キーを押して応答をします。このとき、ランプが黄色点灯します。
応答を終えた後、「PTT」キーを離すと、ランプが緑色に点灯し受信状態に戻ります。

通話を終了する

通話中に自分と通話相手の双方が 10 秒間「PTT」キーを押さなかった場合は、自動的に通話を終了します。

電源を切る

電源/音量ツマミを反時計方向にカチッと回して電源を切ります。

注意	本機はツマミを回して電源を切っても、少しのあいだは通電状態になっています。ディスプレイの「電源OFF...」の文字が消えるまでは絶対にバッテリーパックを取り外さないでください。
-----------	--

オープンソースソフトウェアについて

本機には、GNU General Public License (GPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、下記URLをご参照ください。
(https://alinco-denshi.com/item/dj-cp100.html#000051)

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

仕様、定価格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。本書の内容を無断転載することは禁止されています。
乱丁、落丁はお取り替えいたします。